

SDGsについて考えてみよう

第3回 目標12 つくる責任つかう責任

前回から、日本製紙グループに関わりの深いSDGsの目標を順次説明しています。今回は、目標12「つくる責任つかう責任」です。

宗田 鯉（そうだ かつお）です。イニシャルからSDGs君と呼ばれています。SDGsを良く知り、業務に生かすのが目標です。

ページ内のQRコードもご活用ください。



目標12 「つくる責任つかう責任」とその背景

〈目標〉

- 持続可能な生産消費形態を確保する



SDGsは目標とターゲット(具体的な目標)から成ります。目標12の全文はこちら。
<https://bit.ly/2RNWpV3> (PDF)

12.2は前回学んだ目標15に関係しますね。



〈ターゲット(当社グループの事業に関するものを抜粋)〉

- 12.2 天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用
- 12.3 バリューチェーンを通じて、食品ロスの低減
- 12.4 製品ライフサイクルを通じ、化学物質や廃棄物の管理の実施と、それらの環境への放出削減
- 12.5 廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減
- 12.8 持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を人々が持つよう教育

〈背景〉

経済成長と持続可能な開発を達成するためには、人間活動が環境に与える負荷を削減することが必要です。そのためには、天然資源の効率的な管理、廃棄物や汚染物の処理方法の改善、そして企業や消費者が廃棄物の発生防止と再利用を進めることが重要となります。また、天然資源の無駄遣いにつながり、先進国の社会課題である「食品ロス」を減らすために、バリューチェーンを通じての効率的な生産体制を構築することが求められています。

日本製紙グループの取り組み

目標達成のためには、バリューチェーン※の中で、目標に対するプラスの影響を強化し、マイナスの影響を低減することが必要です。当社グループの目標12に対する一例を示しました。

※ 製品またはサービスの形式で価値を提供するかまたは受け取る、一連の活動または関係者の全体



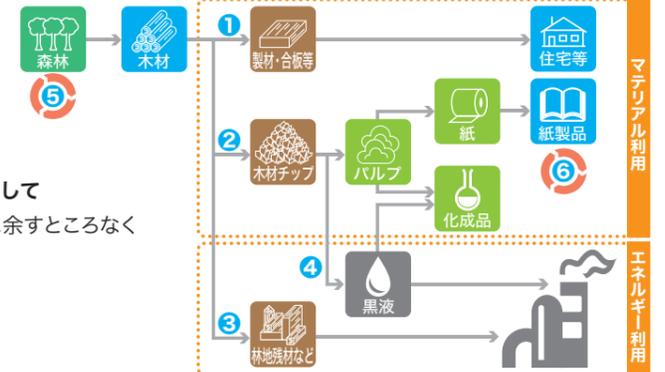
目標12と当社グループは、関係が深そうですね。事例の詳細を見ていきましょう。

コラム1 当社グループの木質資源の有効利用(12.2)

森林から得られる木質資源を、

- 1 製材・合板は建築用途に
- 2 木材チップは紙や化成品などにマテリアル利用し、マテリアル利用できない
- 3 林地残材や建築廃材はバイオマス燃料に
- 4 パルプ製造時の副産物である黒液もバイオマス燃料としてそれぞれエネルギー利用するなど、多段階(カスケード)に余すところなく有効活用しています。また、
- 5 伐採後の森林は再植林する
- 6 使用された紙製品は古紙として再利用するなど、持続可能な資源利用を行っています。

● 木質資源の使われ方(イメージ図)

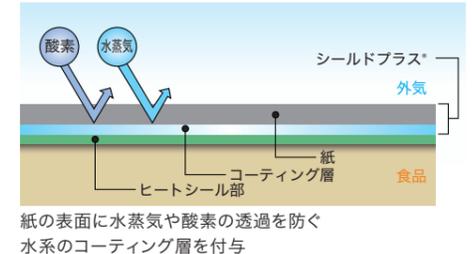


コラム2 食品の品質を保持できる紙製バリア素材…シールドプラス®(12.3)

日本製紙は、紙でありながら水蒸気や酸素の透過を防ぐ「シールドプラス®」を2017年11月から販売しています。食品の風味を落とさず、酸化による劣化を防止することから、食品の賞味期限の延長が可能です。同時に、紙の風合いや美しい印刷性を生かしながら、海洋プラスチックなどの課題解決に貢献できる素材の一つとして、国内外から大きな反響があります。農林水産省の「食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集」にも継続して掲載されています。



● シールドプラス®断面図



ターゲット12.8に関連し、日本製紙グループは子供たちに森や紙について正しく知ってもらおうプラスの取り組みをしていますね!皆さんの職場でもそのような取り組みをしていますか?

環境教育 毎年社有林にて「森と紙のなかよし学校」を実施(12.8)

「森と紙のなかよし学校」は、日本製紙の国内社有林(約9万ha)を活用した、当社グループ独自の環境教室です。社有林の豊かな自然に触れたり、紙づくりを体験したり、森林や環境に配慮して物を大切に使うことの重要性を参加者にお伝えしています。



業務を振り返り、他にもどのようなプラス/マイナスの影響があり、それを強化/低減するにはどうしたらいいか、一緒に考えてみましょう。当社グループのCSR報告書の内容も参考になるので、ぜひご覧ください。



<https://bit.ly/2QBN7e9> (PDF)

皆さんからのご意見を募集しています。WEBアンケートにご協力ください。<https://bit.ly/2P9DcMr>

